

錯覚部屋

広く見せるトリック

コンセプト

部屋を決める際どこもシンプルな部屋が多くてどれも同じような感じに見えてしまかなか決めるまで時間がかかると思います。

そこで私が考えたのは、トリックアートをイメージした部屋です。

トリックアートをイメージした部屋はなかなかないと思うので、来客が来た際にも印象に残りやすく覚えてもらいやすくなり、視覚錯覚で見える角度によって違うので面白みもあり住む人も友達をよんで自慢できるような部屋をめざしました。



▲ 寝室・書斎



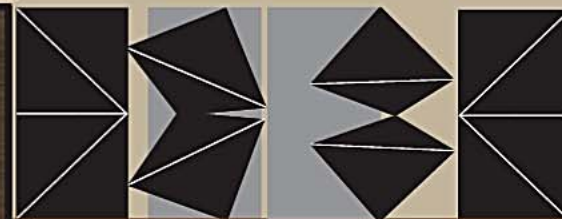
▲ リビング



▲ ダイニング



寝室とを仕切るドアにTorggler's Innovative Doors というドアを使用しました。トリックは「騙す」という意味で、このドアは引き戸とみせかけて引き戸ではなく、のように開きます。



寝室には小さい書斎を設けました。幅を狭くすることで仕事など作業に集中できるようにしました。

リビングには壁収納を設けました。壁収納の扉に奥行きを感じるような錯覚を見せるようにし、天井には上に高く見せるようにしました。収納の扉にプッシュオープン機構を使用し、簡単に開け閉めできるようにしました。

間仕切りの壁を椅子に座った時にリビングが見えないような高さにし、立っている時と座っている時との空間に差をだしました。壁には窓に向かって広がって見えるようになっています。



天井の真ん中部分を少し低くし、あいた隙間に間接照明をつける。

照明 → 天井